

⑥ 第6委員会

「安全で安心してくらすことができるまちづくり」



それでは、第6委員会の意見を発表します。

第6委員会のテーマは、「安全で安心してくらすことができるまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、7月22日に特別消防隊の施設見学を行いました。そこで、私たちは、大きな風を起こして煙を飛ばすブローカー車や小さな音でも大きく聞こえる装置を見ました。そして、技術の進化はすごいと感じました。

また、2人で協力して3メートルの壁を超える障害突破訓練も見ました。そして、チームワークのよさや真剣に取り組む大切さを感じました。

その後、私たちは、施設見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「安全で安心してくらすことができるまち」にするためには、何をすればいいかを考えました。

それでは、私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

僕が一番驚いたことは、年間の火災出動が558件もあったということです。とても多いと思いましたが、それでも減っているそうです。火災を起こさないためには、一人一人の防災意識を高めることが大切だと思いました。

また、地震や津波などから命を守る行動ができるようにするため、地域の防災訓練に積極的に参加するなど、日ごろから地域の人とコミュニケーションをとって、災害に備えた生活をすることも必要だと思いました。

○子ども議員

僕は、7月22日に特別消防隊に施設見学に行きました。特別消防隊員の皆さんは、日本全国の人たちが安心して暮らせるまちづくりのために、日々災害を防止するためにアイデアを考えています。でも、特別消防隊の皆さんでも限度があります。

そこで、僕が考えた意見は、市民の皆さんにも協力してもらい、アイデアを考えてもらうことです。そうすれば、多くの意見が集まって、より「安全で安心してくらすことができるまち」に一步近づくと思います。これで僕の発表を終わります。

○子ども議員

わたしは、ハイパーレスキュー隊と呼ばれている特別消防隊で訓練と特殊な消防車の見学、火災を想定した煙の中から人を救出する体験をしました。

最新の機械や消防車を常備し、練習といっても一刻を争う場面で活動できるような過酷な訓練をしていることがわかりました。私たち名古屋市民の万が一のために、一生懸命大変な訓練をしていることは、とても安心ですが、災害を起こさないように私たちも安全を心がけながら暮らしていくこともとても大切だと思いました。

○子ども議員

ぼくは、特別消防隊を見学して思ったことは、日ごろから災害に対する備えをしたり、訓練をすることは大切なことだと思いました。

なので、できれば半年に一回、大規模災害の起きたときの行動や備えるものなどを確認する日を、名古屋市または1区内でつくったほうがいいと思います。本当に一日避難場所にて、避難で何が必要かや避難場所で困ったことは何かなどを考え、大規模災害が起きたときのヒントとして、このようなことをして家族と話し合ったりするといいと思いました。

○子ども議員

私は、今回の施設見学で特別消防隊へ行き、消防隊の人たちは毎日訓練をし、いつでも人を助けられるように頑張っているということを知り、それがとても印象に残りました。特別消防隊の人たちは、年間火災が558件、救助が1059件、救急が11万9996件と、とても頑張っています。そして、この数を減らせるように努力しています。でも、幾ら消防隊の人たちが頑張っても、私たち市民が努力しなければ無理です。なので、お互いに呼びかけ、注意し合い、名古屋を「安全で安心して過ごすことができるまち」にしたいです。

○子ども議員

施設見学を通じて特別消防隊の人たちは、毎日何十キロもの荷物を背負って全力で走ったり、ロープを伝って登るというような厳しい訓練をしています。何より行動が早かったです。この素早い動きと体力、正しい判断力が人命を救うためにとても役立つことがわかりました。

災害はいつ起きるのかわかりません。だから、あらゆることを想定して備えることが大事だということを、訓練の様子を見て感じました。私は今回の施設見学で見たこと、聞いたことを私たち小学生に伝え、備える大切さを広めていきたいと思いました。

○子ども議員

火事^{けん}の件数が1年間で500件を超えています。その原因^{げんいん}で最も多かったのはたばこです。たばこを吸^すう人は灰皿^{はいざら}を携帯^{けいたい}するというエチケットは知られています。それと同時に、灰皿の下に防火シート^{ぼうか}を敷^しく呼びかけも有効^{ゆうこう}的だと思ひます。コンロ^ふは吹きこぼれによる事故^{じこ}が多いので、コンロの販売基準^{はんばいきじゅん}を強化して、自動的に消す機能^{きのう}を義務^{ぎむ}づけたりして、コンロの火事を減^へらして、火事のない安全なまちにしたいと思ひています。

○子ども議員

今回^{しやうぼう}、特別消防隊^{しやうぼう}を見学できてたくさん^{わたし}のことを学びました。私が^{ちいき}地域で参加した防災訓練^{ぼうさい}でも、今回の見学からも、自分の目で見て体験することは、防災^{ぼうさい}や避難^{ひなん}のことについて真剣^{しんけん}に考え、災害時^{さいがい}に行動できる力になると思ひます。生死^{さかいめ}の境目で助けを待つ人は、1秒でも早く^{きんきゆう}と救助を待っているはずなので、緊急車両^{きんきゆう}が通れなくなる違法駐車^{いほうちゆうしゃ}や、狭い道^{せま}に勝手に車をとめることがなくなってほしいと思ひます。消防隊^{しやうぼう}の方たちが毎日命がけで仕事をしてくださっていることを、小学校でももっとお話を聞ける機会があるといいと思ひます。

○子ども議員

今、名古屋市は陸前高田市の復興を支援しています。私は昨年
陸前高田へ行き、津波や地震災害の恐ろしさを感じました。この名
古屋市も将来大地震が来ることが予想されています。

そうした災害による被害を減らすために、特別消防隊では防災器
具や装置の点検、広報活動をしています。また、ハイパーレスキュー
隊は、国内だけでなく海外の災害にも対応できるように、日々
厳しい訓練をしています。私たちも防災意識を高めるために、避難
場所の確認や食料の備蓄など、できることから始めていく必要があ
ります。

○子ども議員

ハイパーレスキュー隊の施設見学へ行き、防災は大変だというこ
とを知り、防災が大切だということを知りました。

煙体験、防災体験をしたりして、地震とか災害のときに家族と離
れてしまったら、家族のいるところへ連れて行かせてくれるシステ
ムがあり、地震で揺れない建物があって、地震の堤防をもっと丈夫
くしたほうがいいと思いました。

○子ども議員

私は、特別消防隊第一方面隊の施設見学に行きました。立派な消防車やブローカー車がありました。消防隊員の方々が、毎日大変な訓練をしていることも見学しました。消防隊は十分努力していると思いました。

火事を本当に減らすことができるのは、私たち市民です。でも、その方法はよくわからない。だから、消防隊から動画で教えてもらうことを考えました。火事の防ぎ方、逃げ方、日ごろから気をつけておくこと、災害のことをいつでもみんなが見られる環境にして、市民も努力できる環境を整備することを提案します。

私たち第6委員会は、このようなことが名古屋を「安全で安心してくらすことができるまち」にするために必要だと考えました。

これで、第6委員会の発表を終わります。



■ 佐藤都市消防委員長の答弁

第6委員会の委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。限られた時間の中で、よく本当にここまで意見を取りまとめてきょうの本番も堂々と発表ができました。本当にうれしく思います。ありがとうございました。



第6委員会では、「安全で安心してくらすことができるまちづくり」をテーマとして、特別消防隊へ施設見学へ行き、人の命を救うため、さまざまな装備や装置の内容、訓練の方法などについて学んでまいりました。大きな風で煙を飛ばすブローカー車、煙の中でも人を見つけることのできる装置、瓦れきの中で助けを求める人を見つけるための装置、なかなか普通の人では見ることはできないものをたくさん見て体験していただけたのではないかなというふうに思います。

また、見学中、実際の消防車が出動する様子や、さまざまな障害を乗り越えていく訓練の様子も見ることができました。隊員さんがどのようにして皆さんの安全を守っているのかということについても、学ぶよいきっかけになったのではないかなというふうにも思っております。

きょうの皆さんの意見発表を聞いていると、施設見学で学んだこと、体験したことをしっかりと理解して、自分なりの意見を一生懸命

めい
命まとめることができているなど改めて感心しました。名古屋の、
またかとう
加藤議長からもありましたけれども、日本の宝である子どもたち
のはつつとしたかつやく
活躍を見ることができ、名古屋の未来は明るい
と改めて感じました。努力はうそをつきません。これからものの
伸び伸び
と将来の夢に向かって堂々と羽ばたいていってください。

子ども委員長さん、そして子ども副委員長さんを初めとした11
名の委員のみな
皆さんには、きょうまでの間、たくさん考えて、たくさん
しつもん
質問をしていただき、きろん
活発な議論を行っていただきました。

そして今、みな
皆さんには発表の中でたくさんの提案を出していただき
ました。きょうみな
皆さんから発表していただいた意見やていあん
提案などは、
しっかり受けとめて、わたし
私たち議員も名古屋市が安全で安心なまちと
なるよう、さいだいげん
最大限努力することを約束させていただきます。

最後になりますけれども、ご
御協力いただきましたあさい
浅井副委員長、
またよご
余語副委員長や教育委員会のかじた
梶田先生、事務局や関係者のみな
皆さんにかんしゃ
感謝申し上げまして、とうべん
答弁とさせていただきます。ありがとうございました。

